

千葉県居住支援シンポジウム in 八千代市



『誰もが安心して住めるまちへ — 協議会スタートに向けて』
空き家と居住支援の交差点から、地域共生社会へ

高齢化が進み、今後住宅確保が必要な方の賃貸住宅への居住ニーズの高まりが見込まれています。その一方で 賃貸人の中には孤独死や死亡時の残置物処理、家賃滞納等に対して懸念をお持ちの方が多くいるなど、住まいに関する課題は多様化・複雑化しています。

このような社会背景のもと、10月1日に大幅改正された住宅セーフティネット法では市区町村居住支援協議会の設置が「努力義務」となりました。「誰もが安心して暮らせる社会の実現」を目指し、県、市、関係団体等がともに連携しながら、地域での居住支援体制の整備を図っていくために、本シンポジウムを開催します。

日時：令和8年2月9日（月）

14:00～17:00 受付 13:30～

会場：セントラルスポーツ生涯学習プラザ
多目的ホール

（八千代市ゆりのき台3-7-3）

参加費：無料（定員200名 先着）



東葉高速線八千代中央駅から
八千代緑が丘駅方面に向かって
徒歩約5分

基調講演 地域共生社会と住まいのセーフティネット-空き家と居住支援の交差点

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 **大月 敏雄氏**



2014年から東京大学建築学専攻教授。博士（工学）・一級建築士。
専門は、建築計画、住宅計画・設計、団地計画・設計、住宅政策。
現在は、住生活基本計画（全国計画）の見直しを進めている国土交通省社会資本整備審議会
住宅宅地分科会において会長を務めている。著書に「町を住みこなす」（岩波書店）、
「住まいと町とコミュニティ」（王国社）など

プログラム

- 14:00 **主催者あいさつ** 八千代市長・千葉県県土整備部都市整備局長
- 14:10 **基調講演** 「地域共生社会と住まいのセーフティネット～空き家と居住支援の交差点～」
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 大月 敏雄氏
- 15:00 **報告** 「八千代市の実践報告と協議会設立への道筋」
八千代市都市整備部建築指導課
- 15:30 **パネルディスカッション** 「誰もが安心して住めるまちへ～協議会スタートに向けて～」
- | | |
|----------------|-------------------------------|
| 司会 | ・東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 大月 敏雄氏 |
| コメンテーター | ・大牟田市居住支援協議会 事務局長 牧嶋 誠吾氏 |
| パネリスト | ・(一社)千葉県宅地建物取引業協会 東葉支部 |
| パネリスト | ・(一社)千葉県居住支援法人協議会 西澤 希和子氏 |
| パネリスト | ・八千代市健康福祉部福祉総合相談課 主査 関口 直紀氏 |
- 17:00 **閉会のあいさつ**

パネルディスカッション： 大牟田市居住支援協議会 事務局長 牧嶋 誠吾氏

イントロダクション「福祉と住宅をつなぐ」

～大牟田市モデルの実践から大牟田市がどのように協議会を立ち上げたか～



一級建築士。元大牟田市建築住宅課長。入庁後、市営住宅建替事業などの箱モノ整備に携わる。その後自ら志願して保健福祉部局に異動し地域包括ケアシステムの構築に携わる。

その経験から住宅政策における福祉との連携の必要性を認識し、大牟田市居住支援協議会を設立。現在は、居住支援の最前線で支援者として活動するほか、国交省居住支援協議会伴走支援プロジェクト委員として全国各地の居住支援の推進に取り組んでいる。(一社)居住支援全国ネットワーク事務局次長。著書に「福祉と住宅をつなぐ」(学芸出版社)

※シンポジウムご参加には事前申し込みが必要です※

下記の URL または QR コードから「ちば電子サービス」にアクセスし、必要事項を入力して送信してください。



締切り 令和8年2月2日(月)

https://apply.e-tumo.jp/city-yachiyo-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=54249

※参加人数の上限に足した場合は、参加できない旨をご連絡させていただきますので、ご了承ください。

お問い合わせ 八千代市建築指導課

Tel :047-421-6773 Mail:kentiku3@city.yachiyo.chiba.jp